



ひらめき科学奨励賞 **グミの研究**
 千里たけみ小学校 6年生 今井 里咲さん
 大好きなグミを実際に食べて感じた固さと、おもりをつけたピックが刺さった深さから固さを比べました。また、弾力や固さが原材料の水あめと砂糖の量の違いによるものという仮説から、配合を変えた5種類のグミを作り実験しました。好きを探究した作品です。

ひらめき科学奨励賞 **アリってすごい!!**
 千里丘北小学校 5年生 小池 峻登さん
 興味を持ったアリの生態や15種類ものアリの種類を丁寧に調査。アリの生態「道しるべフェロモン」は本当にあるのか。エサの種類や実験の装置、アリの種類を変えながら粘り強く行い、「道しるべフェロモン」の効果を確かめました。

科学奨励特別賞 **土コレ**
 ~身近な土を集めてみました~
 東佐井寺小学校 6年生 園田 あこさん
 おばあちゃんが「この畑の土は落花生がよく育つ」と言っていた。土なんて全部同じじゃないの? そんな疑問から、場所や環境による土の違いを細かく調査。

科学奨励特別賞 **ハンミョウ日記**
 千里第三小学校 6年生 多湖 蒼真さん
 美しい色、足の速さからハンミョウが好きになり、始めた飼育記録。昼と夜を感知しているのかなど、気になることを調べました。

科学奨励特別賞 **回しやすい風車の研究**
 千里新田小学校 5年生 山口 晋太郎さん
 地球温暖化を考慮した風力発電に興味を持ち、設計図をもとに、工作と実験を実施。オランダ型など7種類の風車を比較し、考察しました。

Nice to meet you!

ナイス中ミ〜中

市内の中学生がPR

生徒会スローガン 「鍋」〜鍋のようにあつく×無限の可能性〜
 鍋のようにあつく元気に、いろいろな種類があって個性豊かに何者にでもなれる学校をつくりたい

団結力が魅力
ボトルキャップ運動では40kg超え

佐井寺中学校
 全校生徒は約550人。部活もすぐ活発で、どの部活も大会やコンクール、発表に向けて全力を出して日々練習に励んでいます。
 生徒会は、夏の暑さにも負けないくらいの心志を持って、生徒全員が何事にも挑戦してける学校にするために、さまざまな活動を行っています。
 例えば、今年は「ボトルキャップ運動」を行いました。学校全体でキャップをたくさん集め、結果は40kg超え! 佐井寺中学校の団結力を感じた運動になりました。

さいたん
 校門を通ると、さいたんが出迎え。校内には、いろいろな衣装を着たさいたんがいます

佐井寺中学校 ホームページ

あす 未来に向かって

吹田の教育のいま

No.10

関教育総務室(朝日町☎6155・8063☎6155・8077)

発表!! ふとした“?”が探究して“わかった!”に

米沢富美子こども科学賞 受賞作品

昨年10月19日に「米沢富美子こども科学賞」の授賞式・作品発表会を開催しました。

市長賞 **かがみのけんきゅう**
 千里たけみ小学校 1年生 井口 慧真さん
きっかけ
 家の三面鏡は、鏡の扉の動かし方を変えると、見え方が変わって面白い! 鏡を使っているいろいろ調べてみることに。
調べた! わかった!
 立てた鏡の前に物を置くと左右が逆に映り、寝かせた鏡の上に物を置くと上下が逆に映ることから、線対称の物体は同じように映ることを発見!

教育委員会賞 **夜空を見てみよう**
 ~星がきれいだよ~
 千里第一小学校 2年生 石川 凛太郎さん
きっかけ
 100円ショップで見かけた星座早見表を使って、実際の夜空を見てみたいとスタート。
調べた! わかった!
 吉志部神社で1週間に1回、夏の大三角(ベガ・デネブ・アルタイル)の位置を観察し、ビニール傘に記録してみると、星が東から西へ動いていることを発見! 星が動くことを初めて知りました。

学校教育研究会賞 **サイコロとコインの確率の秘密**
 吹田第一小学校 4年生 佐々井 悠馬さん
きっかけ
 家族ですごろくをしたときに、お父さんから「どの目が出やすいと思う?」と聞かれて調べることに。よく出ていたから予想は「4」!
調べた! わかった!
 サイコロを振って出た目を記録。100回ごとに合計し、割合を算出すると、計算上の割合1/6(約16.7%)に一番近いのは6と判明。一番出た目は予想通り「4」でした!

サイコロを振った回数	出た目の回数の割合(%)					
	1	2	3	4	5	6
100	15.0	21.0	14.0	23.0	16.0	11.0
400	16.3	16.5	17.0	17.5	16.0	16.8
1000	16.7	16.3	15.1	17.6	17.5	16.8

審査員より
 万華鏡を作ったり、大阪市内の科学館に連れて行ってもらって、車のバックミラーなど、生活での鏡の活用について調べたりもしていました。日常の気付きから、多面的に研究を進めていった意欲が素晴らしいかったです。

審査員より
 プラネタリウムに行って星について調べたり、星図を手に入れてオリジナル星座を作ってみたりと、星への興味の広がりを感じられる作品でした。

米沢富美子こども科学賞って?
 子供たちの科学への興味を引き出し、個性と能力を伸ばすことを目的に、市出身の理論物理学者で慶應義塾大学名誉教授の米沢富美子さんと平成22年度に創設した賞です。

授賞式の様子は吹ちゅ〜ぶでも配信中

※今月のリレーコラムはお休みします